

2016年5月25日

クラウド型ネットワーク機器管理の新しい形
ヤマハ ネットワーク統合管理サービス
『Yamaha Network Organizer』

— 2016年6月サービス開始 —

ヤマハ株式会社は、ヤマハのネットワーク機器の監視・管理を、クラウドベースで実現するネットワーク統合管理サービス『Yamaha Network Organizer』(以下 YNO)を開始します。また、ヤマハのネットワーク機器を YNO へ接続させるために必要なライセンスの販売も同月より開始します。

<価格と発売時期>

■基本ライセンス

| 分類 | 品番 | 本体価格 | 有効期間 | 接続台数 | 発売時期 |
|--------------|-------------|--------------|------|------|------|
| YNO 1 台ライセンス | YSL-YNO-1Y | 10,000 円(税抜) | 1 年 | 1 台 | 6 月 |
| YNO 5 台ライセンス | YSL-YNO-1Y5 | 38,000 円(税抜) | 1 年 | 5 台 | 6 月 |
| YNO 試用ライセンス | YNO 試用ライセンス | 無償 | 3 ヶ月 | 3 台 | 6 月 |

◎YNO 試用ライセンスは、2017 年 2 月末のお申込みまでの配布予定です。

◎販売計画:ライセンス数(合計)5,000 台分のライセンス/年

■拡張ライセンス

| 分類 | 品番 | 本体価格 | 有効期間 | 接続台数 | 発売時期 |
|---------|-------------|-------------|------|------|------|
| 拡張ライセンス | YSL-YNO-E1M | 1,000 円(税抜) | 1 ヶ月 | 1 台 | 10 月 |

◎基本ライセンスの契約期間中に、YNO へ接続できるネットワーク機器台数を拡張するライセンスです。

◎基本ライセンスの残り月数×追加したいネットワーク機器台数分をご購入いただきます。

<YNO のライセンスについて>

YNO のご利用にあたっては、基本ライセンスのご購入が必要です。初回の基本ライセンスご購入時に、YNO マネージャーへログインするためのアカウントを発行します。YNO で監視・管理を行うネットワーク機器の台数分のライセンスが必要です。基本ライセンスは、申し込み月の翌月 1 日から有効期間のカウントを開始しますが、申し込み月から YNO のご利用は可能です。

また、YNO をお試しになりたいお客様向けに、2017 年 2 月末まで、試用ライセンスの提供をいたします。

<YNO スタートアップキャンペーンの実施>

YNO の開始に伴い、2016 年 12 月末までのお申込みについては、各ライセンスを半額でご提供させていただくキャンペーンを実施いたします。

| 品番 | 通常価格 | キャンペーン価格 |
|-------------|---------------|---------------|
| YSL-YNO-1Y | 10,000 円 (税抜) | 5,000 円 (税抜) |
| YSL-YNO-1Y5 | 38,000 円 (税抜) | 19,000 円 (税抜) |

※詳しくは各販売店様へお問い合わせください。

<製品の概要>

ヤマハ株式会社が、1995 年にルーター市場に参入して以来、その製品群は中小規模・SOHO ネットワークを中心に、多くの企業に導入していただいております。また、2011 年 2 月にはスイッチ市場に参入し、LAN の見える化に対応したシンプル L2 スイッチ「SWX2100 シリーズ」、スマート L2 スイッチ「SWX2200 シリーズ」、さらに LAN の見える化をスイッチ単体で実現できるインテリジェント L2 スイッチ「SWX2300 シリーズ」の展開を進めてまいりました。さらに近年のタブレット PC やスマートフォンの普及による無線 LAN 利用の急速な増加にあわせ、無線 LAN 市場にも参入しており、無線 LAN アクセスポイント「WLX302」「WLX202」の販売もスタートしております。2016 年 1 月末に、これらネットワーク機器累計出荷台数は 300 万台を超え、多くのお客様にご愛顧いただいております。

今回開始する YNO は、これらネットワーク機器をクラウドから監視・管理することのできる統合管理環境をご提供するサービスです。中小規模ネットワークを中心に展開してきたヤマハネットワーク機器製品では、管理する機器が広範囲に広がっているなどの理由から、監視・管理のシステム構築に踏み出せなかったケースも多く存在しています。YNO をご利用いただくことで、これらの機器の監視・管理の負担を少なくし、より効率よく、さらにはトラブルにも強い機器管理を実現いたします。

YNO は、ネットワーク機器の情報を、すべてクラウド上で管理します。これにより、設定情報を持ち歩くことなく、安全に一元管理できます。さらに、複数の機器設定を変更するなどの作業も、YNO の Web 管理画面上で簡単に行えますので、ネットワーク機器を管理される方の負担を大きく軽減いたします。

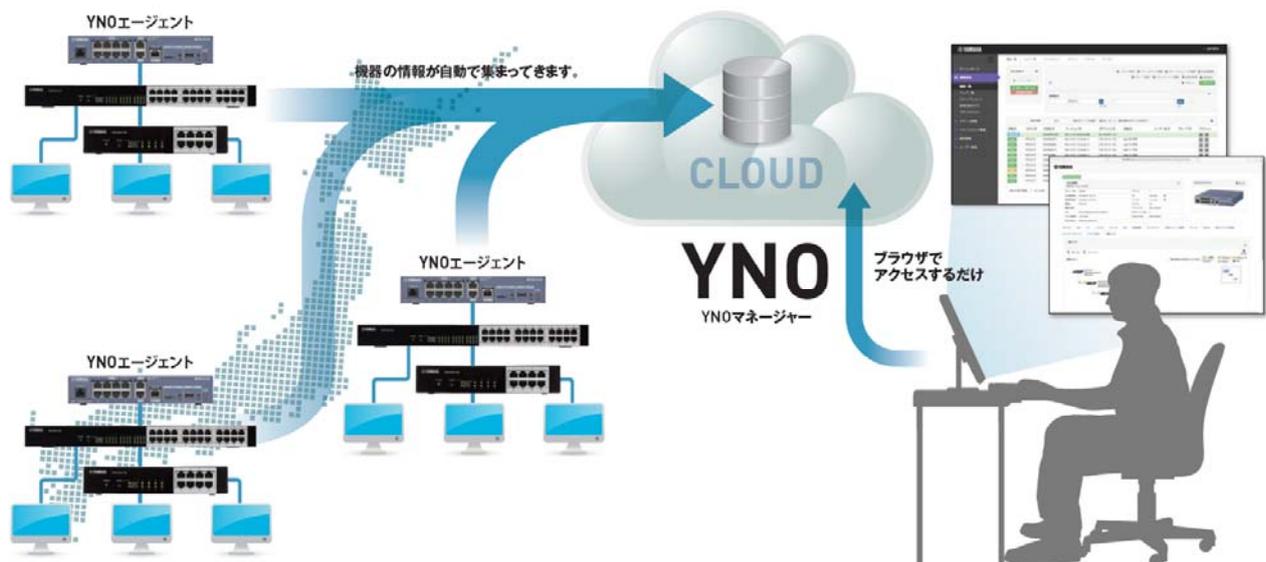


図 1: YNO サービスの概要

<主な特長>

1. クラウド上でのネットワーク機器情報管理

ネットワーク機器を監視・管理するにあたり必要となる設定情報や動作情報は、これまで機器ごとに TELNET や SSH でアクセスして取得する必要がありました。YNO をご利用いただくことで、複数の機器情報をクラウド上で一元管理することが可能となります。さらに、大切な設定情報の保管や機器の設定変更も、すべてクラウド上でコントロールできますので、設定ファイルを持ち歩く必要も無くなります。

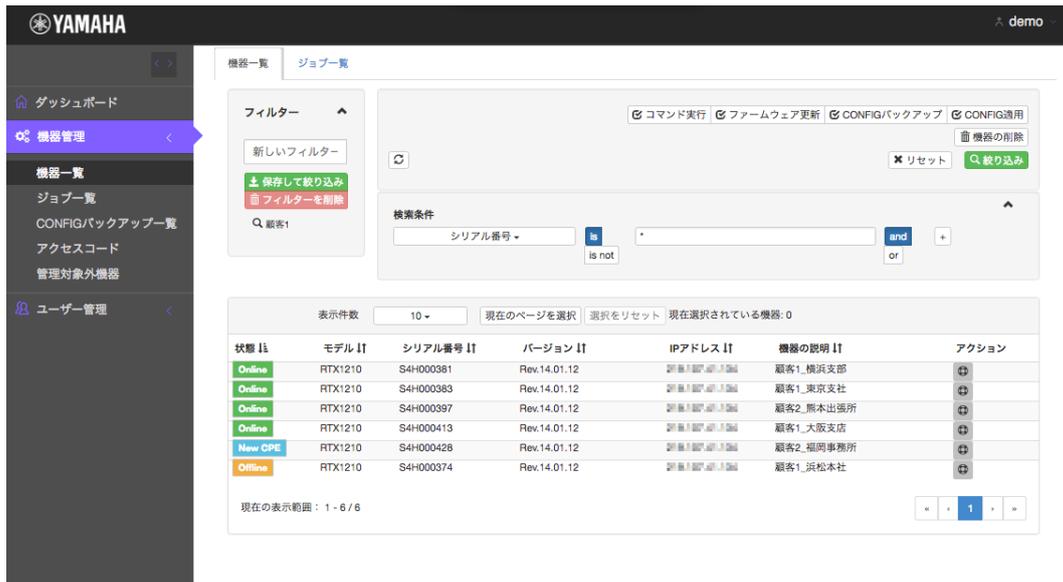


図 2: 機器一覧 複数の機器情報をクラウド上で一元管理

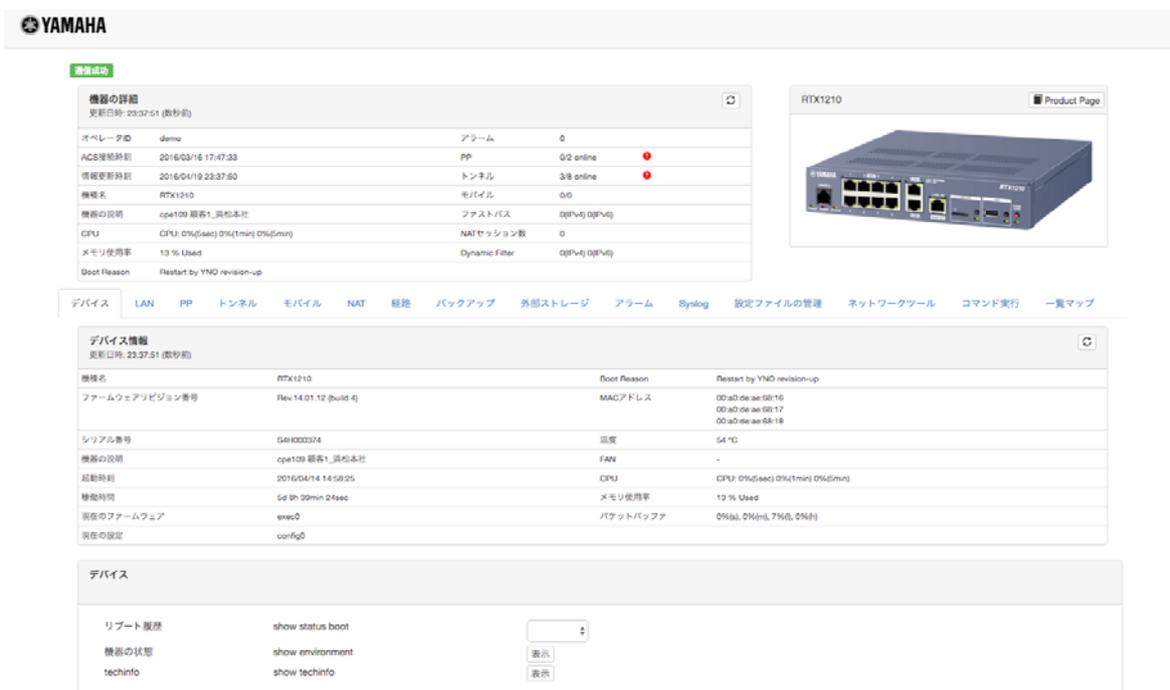


図 3: 機器詳細画面 機器単体の情報を管理

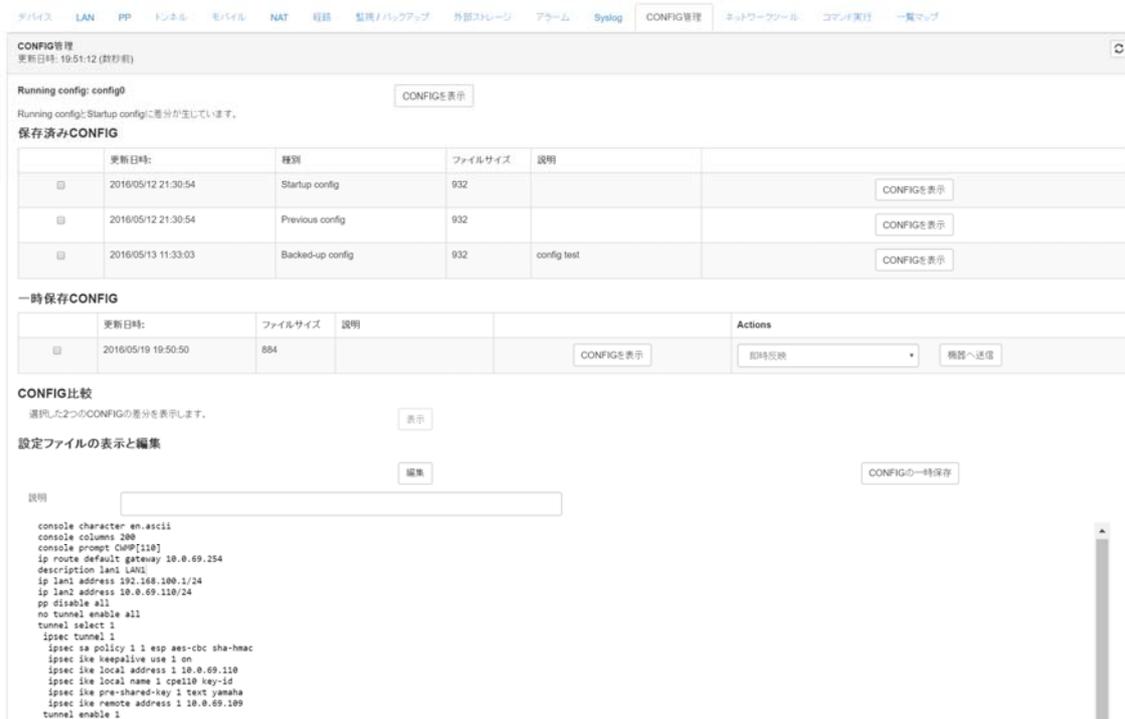


図 4: 設定ファイルの管理画面 設定内容の取得・編集・投入が可能

2. 異常の一元把握(ステータス一覧、アラーム一覧)

YNO のダッシュボード画面に表示されるステータス一覧では、管理対象の機器群に関する WAN 回線やトンネルの接続状態の異常を一目で把握できます。また、アラーム一覧では、発生した異常の詳細を一覧表示できます。多くの機器を同時に管理している環境では、発見の遅れから通信障害を拡大させてしまう恐れのある機器の個体異常やネットワーク異常の発生にもいち早く気付くことができ、通信障害の拡大を未然に防止することができます。



図 5: ダッシュボード表示例 複数機器の異常を一画面で表示

3. 複数機器設定の自動化(スケジュール機能)

YNOでは、管理するネットワーク機器のファームウェアバージョンアップやコマンド実行を、Web管理画面上で実現できます。これらの作業は、スケジュール機能により、指定した時刻(例:深夜の時間帯)に実行することができます。また、複数の機器に対するファームウェア更新やコマンド実行をスケジュール設定できますので、ネットワーク機器を管理される方の作業負担を軽減できます。

ファームウェア更新

ジョブ名称

ターゲット

最新版

| Firmware1 | Description1 |
|-----------|--------------|
| Firmware2 | Description2 |

スケジュール

即時実行

時刻指定実行

2016-05-01 00:01

May 2016

| Sun | Mon | Tue | Wed | Thu | Fri | Sat |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 |
| 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | 01 | 02 | 03 | 04 |
| 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 |

00 : 1

図 6:ファームウェア更新のスケジュール設定画面

4. YNO からの LAN 環境把握(一覧マップ)

RTX1210 の機能としてご好評をいただいております「LAN マップ」機能の一機能である「一覧マップ」の画面を、YNO で表示することができます。これまで、一覧マップの利用には、RTX1210 の Web GUI へログインし、機器ごとに閲覧する必要がありましたが、YNO の管理画面にアクセスするだけで、複数拠点の「一覧マップ」を閲覧することができ、LAN に存在する端末の稼働状況の把握が容易になります。

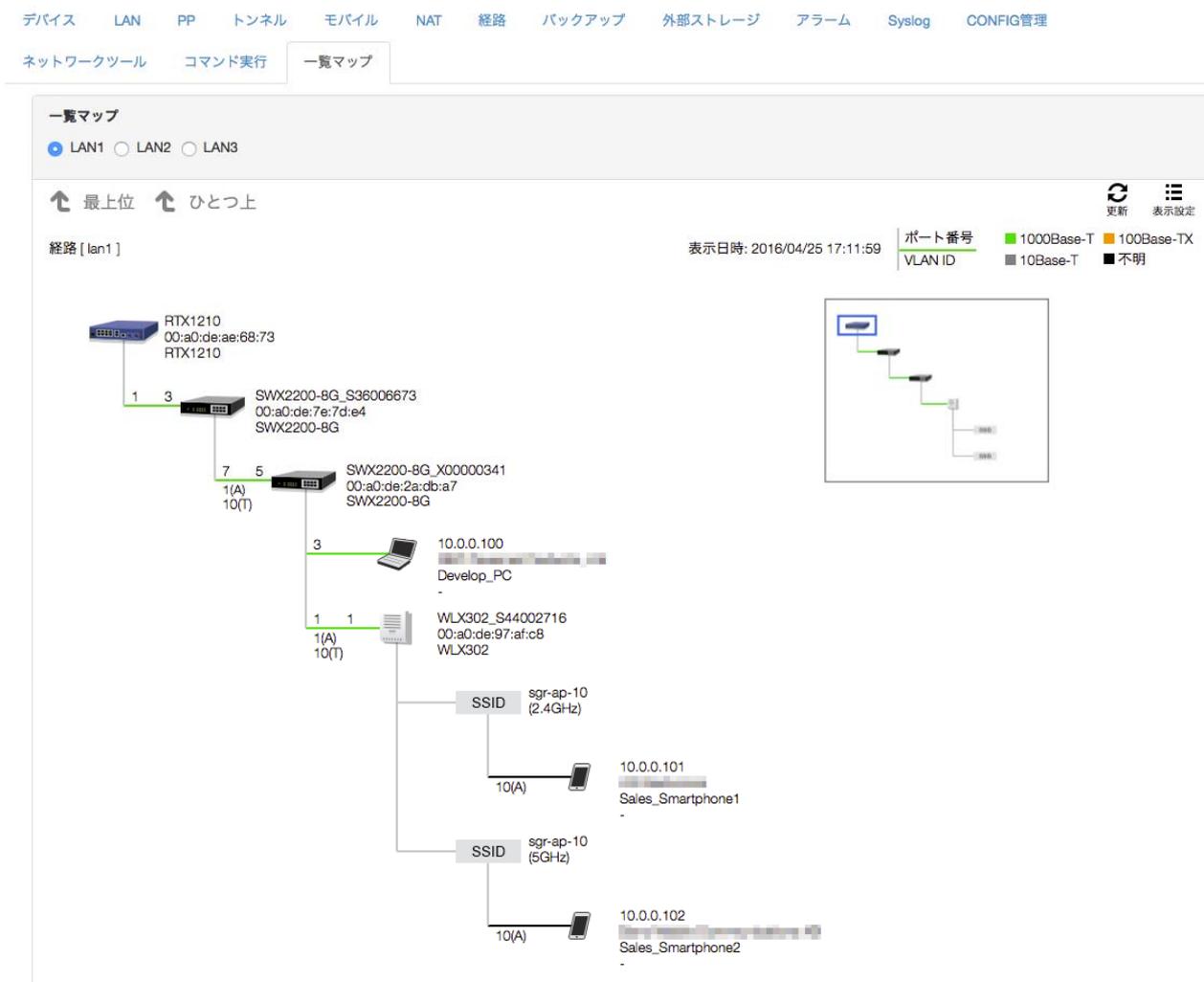


図 7: YNO 管理画面上に表示された一覧マップ 拠点の LAN 環境も YNO で把握

<YNO による統合管理の仕組み>

ヤマハネットワーク機器に搭載されるエージェント機能と、クラウド上で動作するマネージャーの連携により、ヤマハネットワーク機器を一括管理します。

●YNO エージェント

YNO のエージェント機能が動作するヤマハネットワーク機器を YNO エージェントと呼びます。マネージャーと連携し、機器の状態やアラーム通知、設定変更などを実行します。YNO エージェントは、インターネット接続用の設定に加えて、ライセンス購入時に発行されるアカウント情報を設定すると、YNO マネージャーへ接続されます。

●YNO マネージャー

クラウド上で稼働し、YNO エージェントを管理するサーバー機能です。エージェントのステータス情報の収集や、設定変更、ファームウェア更新など、ヤマハネットワーク機器の管理やコントロールを行います。ネットワーク管理者は Web ブラウザと、インターネットへの接続環境さえあれば、各拠点に設置されている機器へ個別にアクセスすることなく、管理対象機器をコントロールすることができます。

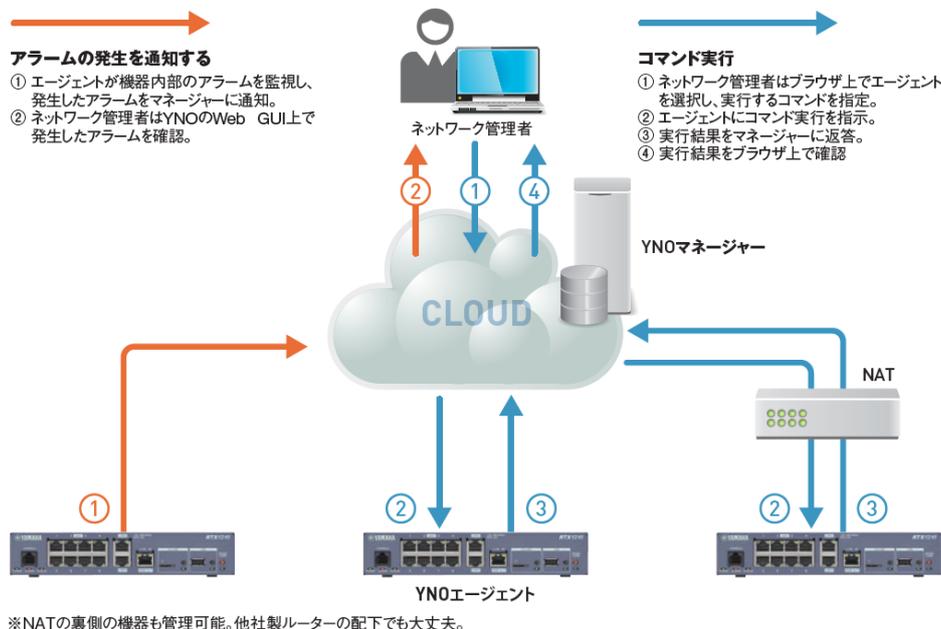


図 8: YNO の仕組み概念図

<ヤマハネットワーク機器の YNO エージェント機能の対応状況>

YNO をご利用いただくにあたって必要となる YNO エージェント機能に対応したヤマハネットワーク製品は以下の通りです。

| 品番 | 対応状況 |
|---|--------------------------|
| RTX1210 | サービス開始と同時に対応ファームウェアを公開予定 |
| RTX5000, RTX3500, RTX810, FWX120, NVR700W, NVR510 | 対応予定 |
| RTX1200, NVR500 | 対応の予定無し |

※生産終了機種での対応予定はありません。

※今後の対応状況については、順次技術情報(RTpro)サイトにて公開いたします。

技術情報(RTpro)サイト <http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

*ヤマハネットワーク機器統合管理サービス『YNO (Yamaha Network Organizer)』は、2016年6月8日(水)～10日(金)に幕張メッセで行われる「Interop Tokyo 2016」(<http://www.interop.jp/2016/>)に展示します。詳しい情報は、弊社ホームページ(<http://jp.yamaha.com/products/network/>)に掲載する予定です。

- 2016年5月現在の情報です。仕様および機能の名称は、予告なく変更することがあります。
- 文中の商品名・社名等は、当社や各社の商標または登録商標です。

※YNOの画像データは、下記ウェブサイトよりダウンロードできます。
http://jp.yamaha.com/news_release/

この件に関するお問い合わせ先
ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先

広報部 宣伝・ブランドマネジメントグループ

窪井、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト http://jp.yamaha.com/news_release/
(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■一般の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 ヤマハルーターお客様ご相談センター

TEL 03-5651-1330

ホームページ URL

<http://jp.yamaha.com/products/network>

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>